



教育関係者・事業者部門
《地方公共団体》

消費・安全局長賞

奈良市食育推進会議

(奈良県) 活動期間 3年

地域で活動している団体同士の連携・協働を進める、食育つながるネット事業

地域活動団体の取り組みの見える化推進

「地域で活動している団体同士が互いの活動を知らないために団体同士の連携が進まない」という課題解決のため、平成26年6月からメールによる地域の取組情報発信を、平成27年2月にボランティア団体等交流会を開催しました。平成27年4月から、団体同士の情報共有や情報発信を通じた連携・協働を進めるために「食育つながるネット事業」を開始。現在、47団体（平成29年11月末）が参加しています。

ポイント1
交流会、事例発表会、講習会の参加

参加団体・個人参加者が集まり、様々なテーマで話し合う「交流会」や、取組事例の「発表会」、食の専門家による「講習会」などを実施します。

ポイント2
市ホームページで登録参加団体の紹介

参加団体の基礎情報、食育活動において「協力できること」や「協力がほしいこと」などを掲載。活動機会や協力者の募集につながります。

ポイント3
食育情報メールの配信

奈良市内で行われた食育活動についての報告や、今後実施される事業予定、そのほかにも役に立つ情報を随時ネットに参加者に配信します。

奈良市食育つながるネットウェブサイト

連携促進で、より幅広い取組に

食育ネットへの参加時に、それぞれの団体でできること、協力を求めたいことをあらかじめあげてもらい、それを見える化したことで連携を進める上でのヒントを参加団体で共有することができました。地域の食育ネットワークの基盤づくりに役立っただけでなく、連携が進んだことで限られた予算・人材・資源を有効に使いながら各団体の強みや特性を活かした幅広い取り組みが生まれました。



食育フェスタ2017 食育体験コーナー

まちづくりの視点から

様々な団体・組織の連携や協働を進めてきたことで、組織の担当者が変わっても取組が継続できる体制作りにも貢献しました。この連携・協働により、これまでアプローチできていなかった市民にアプローチする機会が増え、地域での取組を多く生み出すことができました。

また、市民だよりに掲載する食育コラムを各団体に作成してもらうことにより、団体の活動を市民に広く周知することが可能になり、ネットワーク参加のメリットを示すこともできました。

ネットワーク参加のための広報活動予算をかけないという視点からも効果を得ています。

10月「奈良の食文化の魅力」

当会は奈良の食文化を研究して今年で21年になります。奈良の食文化の魅力は何といっても歴史です。今世界で注目されている和食の源泉は奈良の食にあります。飛鳥・奈良に都(都城)が築かれて世界の文化がまず奈良に集まり、それを日本人は「自分流」に調整して京都に引き継ぎ、全国で和食を作り上げてきました。和食で特に大切なことは、原材料の味や風味を生かすことです。脂や甘さを控えることが、人の健康にもつながります。和食・奈良の食は、食本来の美味しさを再発見し、美味しく食べて健康に生きることを教えてくれています。お茶や和菓子、饅頭、日本酒に味噌、粟麴、豆腐など、奈良にルーツを持つ和食は数多くあります。

NPO法人 奈良の食文化研究会



《室町時代「七十一番職人歌合」より京の都で豆腐を売る女「豆腐売り」(豆腐百世、奈良よりのまちで産とある。)

食育つながるネット参加団体によるコラムの例



1300年前から代々受け継がれてきた奈良の食文化があります。奈良の歴史を礎にして、私たちの構築した「食育つながるネット」に生産者と消費者が集結し、協働して、奈良の食やまちの魅力を世界に発信します。

奈良市長 仲川 げん